浦安で自分を活かし、楽しく生き抜くために ~ 居場所・つながり・お互い様を 通して~

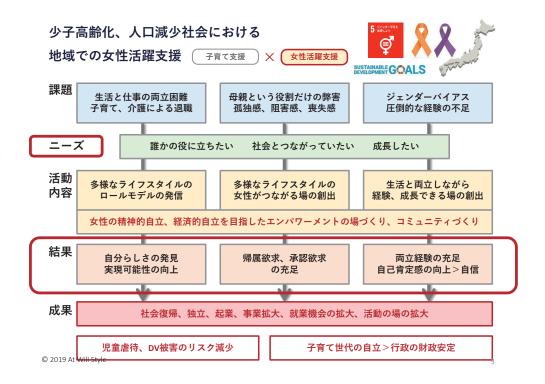
(15)

協働実践者からの報告② 介護予防アカデミアの実践に学ぶ

ヘルスプロモーション推進センター (オフィスいわむろ)

岩室紳也

前回の振り返り



高齢者のひきこもり問題と「対話」

- ●対話とは、面と向かって、声を出して、言葉を交わすこと。
- ●高齢者のひきこもり問題の多くは「対話」の不足や欠如からこじれていく。
- ●議論、正論、説得、叱咤激励は「対話」ではなく「独り言」である。 独り言「モノローグ」の積み重ねが、しばしば事態をこじらせる。
- ●外出させたい、活動に参加させたい、といった「下心」は脇において、 本人の言葉に耳を傾ける。
- ●基本姿勢は相手に対する肯定的な態度。 肯定とは「そのままでいい」よりも、「あなたのことをもっと知りたい」
- ●対話の目的は「対話を続けること」。相手を変えること、何かを決めること、結論を出すことではない。

斎藤環「オープンダイアローグとは何か」(医学書院)改編

https://www.amazon.co.jp/dp/4260024035